

科目名	作品研究 3						年度	2026	
英語科目名	Arts research 3						学期	前期	
学科・学年	ミュージックアーティスト科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	青野りえ		教員の実務経験	有	実務経験の職種		ミュージシャン		
<b>【科目の目的】</b> 音楽業界とエンタテインメントの将来について、メディア業界全体の動向と結びつけながら、新しいアーティストと作品のアプローチを探求する。音楽、美術、写真、デザインなどの3つのアート形態に焦点を当て、考察力を養い、作品や事象の批評視点を発展させ、これらのアートに関する意見やアイデアを表現するスキルを身につける。									
<b>【科目の概要】</b> 音楽業界のありかたやエンタテインメントの将来を、メディア業界全体の動きに照らし合わせながら、新時代のアーティスト・作品のあり方について考えていきます。									
<b>【到達目標】</b> A. 音楽・美術・写真・デザインの中から3種類のアートについて学び、考察力を習得する。 B. 作品や物事について自ら考え、批評する観点を身につける。 C. 3種類のアートについて発言力を習得する。									
<b>【授業の注意点】</b> 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	音楽・美術・写真・デザインの中から3種類のアートについて学び、考察力を習得する		音楽・美術・写真・デザインの中から1種類のアートについて学び、考察力を習得する				到達目標Aについてさらなる努力が必要		
到達目標 B	作品や物事について自ら考え、批評する観点を深く身につける		作品や物事について自ら考え、批評する観点をやや身につける				到達目標Bについてさらなる努力が必要		
到達目標 C	3種類のアートについて発言力を習得する		1種類のアートについて発言力を習得する				到達目標Cについてさらなる努力が必要		
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 特になし									
<b>【参考資料】</b> 必要に応じて、プリントを配布する									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験50%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表・提出物30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		作品研究3			年度	2026
英語表記		Arts research 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	音楽の本質	思考の実践	1 音楽の価値	音楽の本質理解ができる	3	
			2 音楽vs録楽	価値観の考察ができる		
			3 音楽の定義	「音楽」と「録楽」区別		
2	音楽と美術	芸術の歴史を辿る	1 美術と音楽	美術と音楽比較ができる	3	
			2 共通と相違	共通点と相違点把握		
			3 歴史の連動	歴史的連動性理解		
3	舞台芸術1	ギリシャの舞台	1 古代ギリシャ	古代ギリシャの影響把握	3	
			2 オペラ誕生	オペラ誕生の背景知識		
			3 舞台の歴史	舞台芸術史入門理解		
4	舞台芸術2	オペラの起源	1 オペラの形式	オペラの多様性理解	3	
			2 演劇vs技術	技術と演劇性の分析		
			3 喜劇と悲劇	喜劇と悲劇の特徴把握		
5	舞台芸術3	19世紀オペラ	1 19世紀オペラ	近代オペラの変遷理解	3	
			2 近代の変化	嗜好の歴史的变化認識		
			3 オペラ進化	オペラ進化の概観習得		
6	音楽と舞踊	芸術の歴史を辿る	1 音楽と舞踊	音楽舞踊関係性の理解	3	
			2 バレエ関連	バレエと音楽の連携把握		
			3 社会と文化	文化的文脈の理解強化		
7	音楽×バレエ	バレエの進化	1 クラシックバレエ	クラシックバレエの特徴把握	3	
			2 モダンバレエ	モダンバレエの発展認識		
			3 バレエ展開	バレエ歴史への理解深化		
8	現代芸術1	現代芸術理解	1 現代アート	現代アート作品の理解	3	
			2 芸術理解	芸術作品への評価能力		
			3 現代の定義	現代美術の傾向認識		
9	現代芸術2	総合芸術論	1 総合芸術	総合芸術の理解拡大	3	
			2 現代表現	現代表現技法の認識		
			3 芸術概念	総合芸術理解の深化		
10	オペレッタ学	芸術の歴史を辿る	1 オペレッタ	オペレッタの特性把握	3	
			2 ミュージカル	ミュージカルの要素理解		
			3 舞台形態	演劇形式の比較能力		
11	音楽の分野	商業音楽理解	1 ポピュラー音楽	ポピュラー音楽の理解	3	
			2 芸術音楽	芸術音楽の特性認識		
			3 商業vs芸術	商業と芸術の違い把握		
12	芸術裏側	芸術の歴史を辿る	1 バックステージ	舞台裏仕事の知識習得	3	
			2 舞台裏	制作プロセス理解強化		
			3 制作工程	裏方業務への理解拡大		
13	演出	演出の比較	1 演出比較	異なる演出の分析能力	3	
			2 異なる解釈	演劇理解の多角化		
			3 視点の違い	評価視点の多様性習得		
14	課題提示	課題提示	1 課題提示	課題提示の理解習得	3	
			2 レポート概要	レポート作成概要認識		
			3 期末課題	研究課題の設定能力		
15	レポート作成	レポート作成	1 レポート作成	レポート作成技法習得	3	
			2 課題研究	研究内容の整理能力		
			3 報告書完成	最終報告書完成の能力		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等